



TOPICS

- 1.施工ギャラリー
- 2.電気の豆知識
- 3.スタッフ紹介

1.施工ギャラリー

～本牧海づり施設 渡り桟橋～

配管設置後の渡り桟橋



写真①



写真②



写真③

↑台風被害で撤去後(写真①)、千葉袖ヶ浦での配管作業の様子(写真②)、完成後(写真③)

この工事は「**本牧海づり施設渡橋等復旧工事（設置工事）**」として横浜市から2021年(令和3年)に発注され、弊社は大手桟橋設置工事業者様の下請として施工しました。

本牧海づり施設は、横浜本牧ふ頭の先にある海釣り施設で、東京湾に面しています。釣場は新護岸300M、旧護岸300M、渡り桟橋100Mの両面、沖桟橋300Mの両面、延べ1400Mあります。釣れる魚種は非常に多く、一年を通して釣りが楽しめる人気のスポットとなっています。

しかし、2019年の台風15号の影響で管理棟、桟橋が甚大な被害を受けました。管理棟は半壊、今回施工した渡り桟橋は強風により船が走錨・接触したため海中に落下してしまいました。

今工事では**ステンレス製配管を約600M、ステンレスプルボックスを5か所設置**しました。当初予定では横浜市神奈川区の瑞穂ふ頭で関西から海上輸送した橋梁に配管工事を行う予定でしたが、橋梁が大きかったため変更し、千葉県袖ヶ浦市のふ頭に橋梁を設置して作業を行いました。配管の量もかなり多く配送や養生など考慮する面が多くありました。また、ステンレス製の材料は加工が難しく必要な部品も普段とは違うものを選定する必要があったため時間を要しましたが無事竣工しました。

2. 電気の豆知識

今が旬！ホタルイカ！！

電気といえば光、光る生き物で旬なのはホタルイカ！

ホタルイカとは？

胴の長さ約5センチ、重さ10グラムほどの小さいイカです。

全身に約1000個の発光器があり、青白い光を発します。その様子が、ホタルのように見えるためこの名前がつきました。旬の時期の産卵後に砂浜に打ち上げられる「ホタルイカの身投げ」が有名です。



「ホタルイカの身投げ」はいつ発生する？

毎年2月下旬から5月頃、普段は深海にいるホタルイカが産卵のために浅瀬に上がってきます。身投げを見るには条件があり、それが「新月の夜」というものです。ほかにも条件はありますが、月明りのない新月や大潮の時期は真っ暗で方向を見失ってしまい、誤って砂浜に打ち上ると考えられています。

どこで見られる？

ホタルイカの主な生息地は日本海全域と太平洋の一部地域ですが、特に富山県は「ホタルイカ群遊海面」という、特別天然記念物があるほどです。特に、富山県東部の滑川市付近が、ホタルイカが多く水揚げされてくるところとして有名です。「ホタルイカの身投げ」が見られるのは富山湾だけです。

また、漁獲量では兵庫県の浜坂漁港が日本一だそうです。富山は旬の時期のみ漁をするのに対して、兵庫ではホタルイカの生息している深海に網を設置することで一年を通して味わうことができます。

参考： 海のレシピPROJECT「富山県 魚津市」 <https://uminorecipe.jp/>
じゃらんニュース「ホタルイカとは？」 <https://www.jalan.net/news/>

3. スタッフ紹介



しらた ももこ
白田 桃子

入社 5年目
資格 第二種電気工事士

皆さまへのご挨拶

いつもお世話になります。一昨年までは営業として仕事をしていましたが、現在は工事部に所属しています。

最初は慣れていくことが大変でしたが、名前しか知らなかった材料や工具等を実際に現場で使用するところを見たり、教えていただいたりと営業の時よりも現場のイメージがつきやすくなり、自分の知識が増えていくことにやりがいを感じます。現場によって作業方法が多種多様ありますので、今は現場経験を積み重ね、より多くの工種、工法、材料を覚え、資格を取得していきたいと思います。

これから現場でお会いすることが多々あると思いますのでよろしくお願いいたします。

お問い合わせ先

株式会社 横浜電業 営業部 萩原

Tel : 045-332-5111 Fax : 045-332-5120

URL : <http://www.y-dengyo.com> Mail : eigyou@y-dengyo.com

配信を希望されない方はメールにてご連絡いただけますと幸甚です。

